

第3回運営委員会・世話人会

2013年5月12日(日) 国立京都国際会館 5F Room501 12:00-13:00

出席者：前谷、小泉、伊佐山、吉田、坂本、島田、松澤、桑井、斉藤、山田、佐々木、矢川、大木、高安、平川、山内、京、金澤、串山、寺石、真崎、直田、富田、堀松、五十畑、榎本、高林、斉田

オブザーバー：ボストン、センチュリー

1 開会およびご挨拶

斉田より開会の挨拶

2 議事

(1) 庶務報告

榎本より庶務報告。現在会員 174 人。賛助会員 5 社。

(2) 会計報告

榎本より会計報告。1,684,972 円を来年度へ繰り越し。

監事（炭山先生、北川先生）よりすでに承認をいただいている。

会場から異議なし。満場一致で承認された。

(3) 第2回大腸ステント安全手技研究会について

伊佐山先生より

今回の研究会の内容

主題演題(ミニガイドライン、CROSS)、一般演題 (BTS が多い)、前向き症例解析研究
中間報告、マイスナー先生の特別講演、ラウンドテーブルディスカッション

(4) 第3回大腸ステント安全手技研究会について

第87回消化器内視鏡学会総会期間中の2014年5月17日の予定（福岡）

当番世話人は島田守先生に満場一致で決定。島田先生よりご挨拶いただいた。

(5) 前向き観察研究の進行状況について

進行状況について説明：現在 350 例まで到達。

終了時期について：とりあえず秋の JDDW 時の運営委員・世話人会に状況を把握してから継続または終了を決定、それまではこのままで継続とする

Niti-S について：近い時期に Niti-S が新しい大腸ステントとして保険収載される予定である。プロトコルの「今後新たに保険収載され使用可能な大腸用ステントが発売されれば、登録を検討することとする」に従い、本会で検討を要する。

→全員一致で新しいステントを混ぜずにこのまま WallFlex のみで現研究は継続し、Niti は別の研究として、保険収載された直後に新しくプロトコルを作成する。

(6) ミニガイドラインについて

伊佐山先生：学会のガイドラインとは多少合わないので新たな名称を作って発信してい

った方が良いのでは？ 手技の推奨のような形として。

島田先生：内視鏡学会に認めてもらえれば正式にガイドラインになるのでそれを目指していけばいい。

前谷先生：ガイドラインという言葉はやはりいろいろとあって難しい。テクニカルレビューのような形で発信するのでもいいのでは？

斉田：ハンドブックのような形か…。

この点については伊佐山先生にさらに考慮していただくこととなった。また興味のある先生方にお手伝いをお願いする。

(7) その他

会費について：今回も次回も研究会参加費は無料であるが、年会費の 1000 円を徴収する。

2 閉会